Zone A　学校

21世紀の学びを実践する教師の学習コミュニティを培う

－対話を編み込み、実践をデザインし、文化を創り出す－

Zone Aではこれまで、「専門職の学び合うコミュニティ（Professional Learning Communities）」を培う学校改革のビジョンにもとづき、「21世紀の学びを実践する教師の学習コミュニティを培う」というテーマを掲げ、学校が持続発展していくための教師協働の在り方について議論を積み重ねてきました。今回の実践研究福井ラウンドテーブル2020 Spring Sessionsでは、教師、子ども、保護者、地域社会がともに学び合うコミュニティを学校にデザインする上で鍵となる「ミドルリーダーシップ」に焦点を当て、「Leading from the Middle：ミドルからのリード」をいかに実現し、そしてサポートできるのかを、参加者のみなさまとともに協働探究していきます。特にシンポジウムでは、「21世紀の学び」についても確認しながら対話と議論を重ね、これまでZone Aで蓄積してきた知見をさらに前進させていきます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| *Orientation*  *Session*Ⅰ  *Session*Ⅱ | 13:00-13:10  13:10-14:10  14:20-15:50 | *Knowledge fair*（ポスターセッション）  福井県内外の幼・小・中・高・特別支援学校  *Symposiums*　21世紀の学びを実践する教師の学習コミュニティを培う |
| ＜シンポジスト＞  ＜コーディネーター＞ | | 東京都板橋区立赤塚第二中学校・教諭　名地　太輔　氏  新潟大学教育学部附属新潟中学校・教諭　上村　慎吾　氏  信州大学教育学部附属松本中学校・副校長　　宮下　哲　氏  福井大学連合教職大学院・准教授　　木村　優　氏 |
| *Session*Ⅲ | 16:00-17:40 | *Forums*　協働を編み込み、実践をデザインし、文化を生み出す |
|  |  | SessionⅡの議論に基づき、参加者それぞれの学校づくりの長い実践を共有し、新たな出会いと協働を編み込んでいきます。 |

Zone B１　教師教育

働き方改革と学び合う学校づくり

－組織・コミュニティ・カリキュラムのマネジメント－

今日の学校教育には、これからの変化の激しい時代において持続可能な社会の担い手となる子どもたちの資質・能力を育むため、主体的・対話的で深い学びの実現など、教育の質的転換・向上が求められています。また、教員の大量退職に伴い、若い世代の教員を支え育てる組織づくりも必要とされるなど、学校は大きな変革のなかにあります。他方で、教員の働き方改革も急務とされています。こうした状況のなかで教育に携わる者の多くは、教育の質的向上と働き方改革とは一方を推進すれば他方が停滞するというディレンマに悩まされているのではないでしょうか。

Zone B1では、現状を克服し、教育の質的向上と働き方改革との両立を目指して、自治体における具体的な事例なども踏まえながら、行事の精選や教員の会議の削減などに止まらず、教師の働き方改革を実現しつつ教育の質的向上を図るためのカリキュラムマネジメントや教師が学び合うコミュニティとしての学校のあり方について展望を拓いていきます。

Orientation 13:00-13:10

SessionⅠ 13:10-14:10 Knowledge fair（ポスターセッション）

SessionⅡ 14:20-15:50 Symposium

＜シンポジスト＞

福井県教育庁学校振興課・課長　小林　利幸 氏

福井県教育総合研究所・所長　牧野 行治 氏

福井市明道中学校・校長（福井県中学校長会会長）　北川 裕之 氏

＜コメンテーター＞

文部科学省総合教育政策局教育人材政策課・課長　柳澤 好治 氏

＜コーディネーター＞

福井大学連合教職大学院・教授　淵本 幸嗣 氏

SessionⅢ 16:00-17:40 Forums

＜実践報告者＞

　　　　福井大学連合教職大学院・准教授

（教育学部附属義務教育学校・後期課程統括研究主任）　　　栁 博恵 氏

福井大学教育学部附属義務教育学校・後期課程教務主任　　　柳本 一休 氏

　　　　越前町立宮崎中学校・教諭（第３学年主任、進路指導主事）　幸坂 浩 氏

シンポジウム及び実践報告を踏まえ、小グループで協議します。

Zone B２　教師教育

専門職としての学びのプロセス

－対人援助職のための省察的実践の場を組織する－

教師や心理職、保育士・看護師・介護士といった専門職は、人との係わり合いがその仕事の根幹を成す対人援助職です。対人援助職においては、刻々と変化する状況の中で、その時々の状況と相手に合わせた支援を行なうことが求められることから、確立された特定の知識や技術を学びそれを実践に応用するという枠組みの中だけで、その資質・能力を培うことはできません。対人援助職としての専門性を培うためには、実際的な係わり合いの場面に身を置くこと、実践の場での自身の行為について振り返り、自身の行為がもつ意味やそうした行為を支える自身の認識の枠組みについて状況の中で検討すること、そうした検討を通じて次の支援の方向性をあらためること、そうした実践と省察の絶え間ない往還を欠かすことはできません。

多くの対人援助職の養成課程においては、学生が実践を行なう機会としての「実習」がそのカリキュラム内に位置付けられていますが、そうした「実習」が省察的実践者としての対人援助職の成長を支えるものとなるためには、どのような取り組みが求められるのでしょうか。

今回のラウンドテーブルでは、学生は実習で得た経験をいかに捉え、振り返り、意味付けているのかについての学生自身の語りを聴くことを通じて、対人援助職としての学びのプロセスを探り、参加者の皆様と議論を深めたいと思います。また、多様な領域における専門職としての学びのプロセスを交流することを通じ、対人援助職としての省察的実践の場をいかに組織するのか、対人援助職養成のあり方についても議論を重ねていきたいと思います。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| *Orientation*  *Session*Ⅰ  *Session*Ⅱ | 13:00-13:10  13:10-14:10  14:20-15:50 | *Knowledge fair*（ポスターセッション）  福井県内の学校  *Symposiums* |
| ＜報告者＞  ＜コメンテーター＞ | | 福井大学教職大学院生/その他  早稲田大学　村田晶子氏 |
| *Session*Ⅲ | 16:00-17:40 | *Forums* |
|  | 16:00-17:00  17:00-17:40 | 小グループ形式での学生による実践報告  　福井大学、玉川大学、岐阜聖徳学園大学、駒沢女子大学　他  振り返り（教員・実践者／学生） |

Zone C　コミュニティ

持続可能なコミュニティをコーディネートする

－地域のこれからを拓く担い手をいかに育てるか－

　この間Zone Cでは「持続可能なコミュニティをコーディネートする」というテーマを長期に渡り検討しています。前回は「地域と学校のつながりを編み直す」というサブテーマで、地域と学校それぞれの立場からの実践報告を共有しながら本テーマについて探究を行いました。その探究のプロセスを踏まえ、今回は「地域のこれからを拓く担い手をいかに育てるか」をサブテーマに、お互いの取り組みから学び合いたいと思います。

　地域には様々な人がいて、その人たちは地域の多様なコミュニティの活動をつくり支えています。そうした人々の力が発揮できる学びは、どのように支えることができるでしょうか。また、いま地域の様々な活動は、世代継承の問題に直面しています。世代継承のサイクルは、どのように生み出すことができるのでしょうか。

地域のなかの多様性と、長期的展望の観点にたちながら、地域のこれからを拓く担い手を、いかにコミュニティの活動を通して育み支えていくかを考え合いたいと思います。住民との対話を通したまちづくりをコーディネートしている市の職員の方の取り組みや、地域の多様で多層なコミュニティの学びをコーディネートする公民館主事さんの活動、そして会場のみなさんそれぞれの取り組みから、共に考え合いたいと思います。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| *Orientation*  *Session*Ⅰ  *Session*Ⅱ | 13:00-13:10  13:10-14:10  14:20-15:50 | *Knowledge fair*（ポスターセッション）  福井県内の公民館、福井大学探求ネットワーク　他  *Symposiums* |
| ＜シンポジスト＞  ＜コーディネーター＞ | | 福井市和田公民館 館長　北島　喜一　氏  福井市役所 国見地区地域担当職員　西澤　公太　氏  福井大学連合教職大学院　冨永 良史 氏、矢内　琴江 氏 |
| *Session*Ⅲ | 16:00-17:40 | *Forums* |
|  |  | SessionⅡでの課題の提起を踏まえ、5～6人の小グループとなり実践を交流します |

Zone D　授業研究

子どもと教師の学びを支えるために授業研究・保育研究をいかに組織するか

これまでZone D では、「子どもと教師の学びを支えるために授業研究・保育研究をいかに組織するか」というテーマで、特に探究的な学習を支えるためにどのように授業研究・保育研究を組織していくと良いのか考えてきました。今回は、このテーマを掘り下げて考えていく視点として、「新しい世代を支え学びあう授業研究」に焦点を当て考えます。シンポジウムでは、「新しい世代を支え学びあう授業研究」に取り組んできた実践報告に加え、エジプト・アラブ共和国及びマラウイ共和国にて授業研究に取り組んでいる立場から、日本の授業研究の特徴を浮き彫りにするとともに、我が国の授業研究を牽引してきた立場から、今後の授業研究の方向性について探っていきます。シンポジウムで出てきた問題提起を踏まえて、フォーラムでは、保幼小・中高・特別支援という3領域に分かれ、各領域での話題提供を手がかりに、参加者がそれぞれの校種や領域で具体的に実践を捉え直していきます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| *Orientation*  *Session*Ⅰ  *Session*Ⅱ | 13:00-13:10  13:10-14:10  14:20-15:50 | *Knowledge fair*（ポスターセッション）  福井県内外の幼・小・中・高・特別支援学校  *Symposiums*　新しい世代を支え学びあう授業研究 |
| ＜シンポジスト＞  ＜ディスカサント＞  ＜コーディネーター＞ | | 福井市至民中学校・校長　小林 真由美 氏  千葉県立保健医療大学・准教授　福島 昌子 氏  エジプトカイロ大学文学部日本語専門翻訳専攻長　アリ リナ 氏  マラウイ共和国ナリクレ教員養成　校長代理  マティアス ジャヌアリー 氏  教職員支援機構・次世代教育推進センター長　大杉 昭英 氏  福井大学連合教職開発研究科・教授　三田村 彰 氏  福井大学連合教職開発研究科・講師　高阪 将人 氏 |
| *Session*Ⅲ | 16:00-17:40 | *Forums*　多様な授業研究・保育研究から学び合う |
| A保幼小の実践に学び合う　　　　福井佼成幼稚園・園長　大栁 世津子 氏  　　　　　　　　　　　　　　　　福井市啓蒙小学校・教諭　渡邉 淳子 氏  B中高の実践に学び合う　　　　　福井市森田中学校・教諭　木下 慶之 氏  福井県立武生高等学校・教諭　辻崎 千尋 氏  C特別支援教育の実践に学び合う　福井市足羽小学校・校長　小杉 真一郎 氏 | | |